

「くらかけネット」の取組

～人と人がつながる仕組みをつくる～

【岩国市 玖珂中学校区】

地域の概要

玖珂町は、総面積が 23.20 k m² と小さくまとまった町です。中学校が 2 校、小学校が 2 校あり、いずれも近接しているため、以前から小・中が連携して児童生徒を育てる取組をしてきました。中学校区には、幼稚園と保育所が各 2 園と高森みどり中学校、高森高等学校があり、幼保・小・中・高が連携して、0 歳から 18 歳までの一貫した教育が可能な地域といえます。また、総合型地域スポーツクラブ「KUGA スポーツクラブ」の活動を通じて、多くの町民が交流しています。

人 口	10,850 人	
世 帯 数	4,842 世帯	
対象校及び 児童生徒数	玖珂中学校	335 人
	高森みどり中学校	120 人
	玖珂小学校	454 人
	玖珂中央小学校	162 人

組織の内容

【学校運営協議会】

玖珂中学校は、平成 24・25 年度の 2 か年、文部科学省の「コミュニティ・スクールの推進に係る調査研究事業」の指定を受け、学校運営協議会の設置に向けて準備・推進をしてきました。

まず、地域の現状や課題について情報を集め、委員を選定しました。委員は地域代表として、青少年相談員、自治会連合会会長、子ども会連合会玖珂支部長、老人クラブ連合会会長、更生保護女性会会長の 5 名、保護者代表として、PTA 会長、同副会長の 2 名で組織しました。また、地域協育ネット協議会の設置を見据え、校区内の小学校長にも参加していただきました。

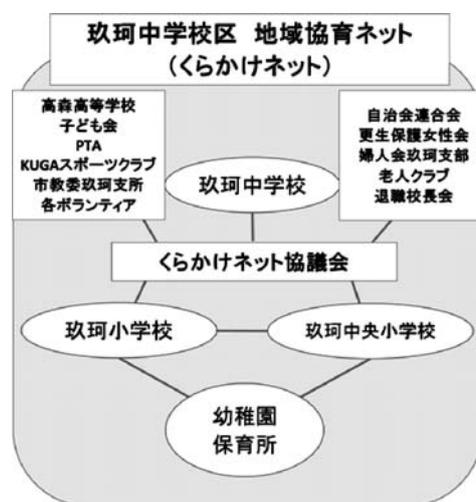
【企画委員会】

地域協育ネット協議会の組織づくりにおいて、「人と人がつながる仕組み」をつくることをコンセプトに、小・中学校長が中心となって地域コーディネーターを選出し、PTA 会長を加えたメンバーで編成しました。

平成 29 年度の小学校の統合を見据え、地域と学校がより強くつながる協議会となるよう議論を重ねました。

【地域協育ネット協議会「くらかけネット協議会」】

今年度から、地域協育ネット協議会を「くらかけネット協議会」と命名し、組織を再編成しました。新たに、地域コーディネーター、市教委玖珂支所長、小学校の PTA 会長と地域担当、幼保連絡協議会代表、KUGA スポーツクラブ代表、高森高等学校長に加わっていただき、玖珂地域の「めざす子ども像」について共通理解を図りました。



特色・重点的な取組

【ボランティア活動】

玖珂中学校では、地域貢献の一環としてボランティア活動に力を入れています。子ども会と連携し、子ども会主催の行事にボランティアとして多数の生徒が参加しています。生徒が積極的に地域行事に参加し、地域の方と交流することで、自己有用感を高め、地域の一員としての自覚をもつことをねらいとしています。

【地域コーディネーターを中心とした組織づくり】

「くらかけネット」の活動によって、学校と地域がスムーズにつながるためには、地域コーディネーターの役割が重要です。地域コーディネーターが核となり、「人と人がつながる仕組み」づくりをめざしています。

主な活動の紹介

○小中連携の取組

◆3校ふれあいクリーン作戦

校区内の小・中学校3校が集まり、地域の公共施設や公園などを清掃する活動を行っており、今年度で15回目を迎えました。地域の清掃を通して、小・中学生がふれあうことを目的に、3校を縦割りの班編成にして取り組みました。また、今年度は「くらかけネット」の各団体の方にも参加していただき、子どもたちと地域の方々との交流を深める場となりました。



3校ふれあいクリーン作戦

○地域との連携の取組

◆自治会清掃

自治会の一斉清掃の日を、中学校のテスト期間中の日曜日に合わせていただき、日曜参観日の午前の活動として、生徒は自分たちの住む地域の清掃活動に参加することができるようになりました。参加した中学生の紹介を各自治会長がしてくださったことは、地域の方々との顔見知りになるきっかけとなりました。

◆面接指導と放課後学習

退職校長会玖西支部の協力を得て、放課後の補充学習と入試面接の練習を実施しました。地域の方に指導していただくことで、生徒はよい緊張感をもち、真剣に取り組みました。



ボランティア活動

○地域への貢献

◆ボランティア活動

地域行事へのボランティア参加が急増しました。地域に根ざしたボランティア活動に参加することで、児童生徒の自己有用感や自己肯定感が育まれました。また、カルタ大会や球技大会、キャンプ等の子ども会行事にも、たくさんの中学生が参加することで、地域とのつながりが生まれ、充実した取組になりました。



くらかけネット協議会

○「熟議」による協働

くらかけネット協議会では、玖珂地域の「めざす子ども像」について、委員全員で「熟議」を行い、班別にスローガンを考案しました。次回はそのスローガンを一つに絞り、玖珂地域の「めざす子ども像」を決定する予定です。

成果と課題

自治会清掃やボランティア活動等の地域貢献を通じて、地域の方々との交流が深まり、児童生徒の中に自己有用感や自己肯定感が育まれました。また、地域の方々にも見守られていると実感したことで、地域を今まで以上に身近に感じ、玖珂を好きになったという成果がありました。

課題としては、「めざす子ども像」をもとに、小・中の交流行事と地域行事を融合させ、地域ぐるみで子どもを育てる仕組みをつくっていくことです。また、コーディネーターが活躍できる協力体制についても再確認することが必要だと考えています。

今後の取組

「地域協育ネット」の取組として、高校生ボランティアの参加を呼びかけ、放課後学習の充実を図っていく予定です。また、小学校統合を機に建設される新校舎のコミュニティ・ルームを有効に活用する方法や、地域と学校がより密接につながる情報発信などについて、協議をしていく予定です。